

第 2 回 山梨県自転車活用推進計画策定委員会

平成30年12月20日(木)

計画策定に向けた調査結果と実施予定(案)



山梨県内の自転車利用実態を把握するため、全国の自転車利用者のうち山梨県内で自転車を利用したことがある方を対象にwebアンケート調査を実施した。

第2回委員会では、調査結果速報として単純集計結果を報告する。

詳細については、第3回委員会で提示予定である(利用時間・利用路線・日常利用目的、走行頻度を考慮した市町村別走行台数割合等)。

調査概要

調査目的	山梨県内での自転車利用実態を把握するため、自転車利用者を対象にアンケート調査を実施		
調査内容・対象	山梨県内で自転車を利用したことがある方(全国)を対象にwebアンケート調査を実施し、回収数は1,000票。		
調査項目	質問項目	具体項目	
	回答者属性	●性別、年齢、居住地	
	趣味・観光の利用実態	●自転車利用目的・理由(趣味、観光、日常) ●同行者及び同行人数 ●利用場所 ●走行頻度 ●自転車利用日数 ●1日当たりの自転車走行時間 ●主な利用路線 ●自転車の出発目的地への移動手段	
	日常の利用実態 (山梨県内居住者のみ)	・自転車利用目的 ・走行頻度 ・主な利用路線	
	自転車利用環境の感想	・走行環境 ・受入環境	
	自転車移動に対する要望等	・自由回答	



調査結果①

山梨県での自転車の主な利用目的

- 観光との回答が最も多いほか、趣味を目的とする回答も多かった。

表 1. 山梨県での自転車の主な利用目的 ※複数回答

	趣味	観光	日常	合計
回答数	411	744	37	1,192
構成比	41.1%	74.4%	3.7%	119.2%

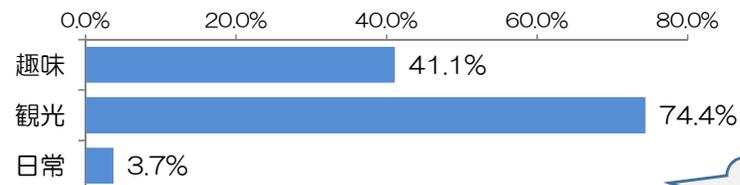


図 1. 山梨県での自転車の主な利用目的

母数は
1,000票

利用目的別の年代

- 趣味や観光においては40代・50代の回答者が多い。
- 日常利用の回答者は40代が最多で、次に30代が多かった。

表 2. 山梨県での自転車の主な利用目的（年代別）

	回答数			構成比		
	趣味	観光	日常	趣味	観光	日常
10代	1	1	0	0.2%	0.1%	0.0%
20代	25	37	2	6.1%	5.0%	5.4%
30代	81	127	8	19.7%	17.1%	21.6%
40代	116	218	16	28.2%	29.3%	43.2%
50代	122	231	4	29.7%	31.0%	10.8%
60代	55	109	7	13.4%	14.7%	18.9%
70代以上	11	21	0	2.7%	2.8%	0.0%
合計	411	744	37	100.0%	100.0%	100.0%



図 2. 山梨県での自転車の主な利用目的（年代別）

※若年層・高齢者層はモニター数が少ないため人口構成比は参考値



調査結果②

趣味・観光で利用している回答者の居住地

● 東京都や神奈川県が多いほか、趣味では静岡県、観光では愛知県に居住している回答者も目立つ。

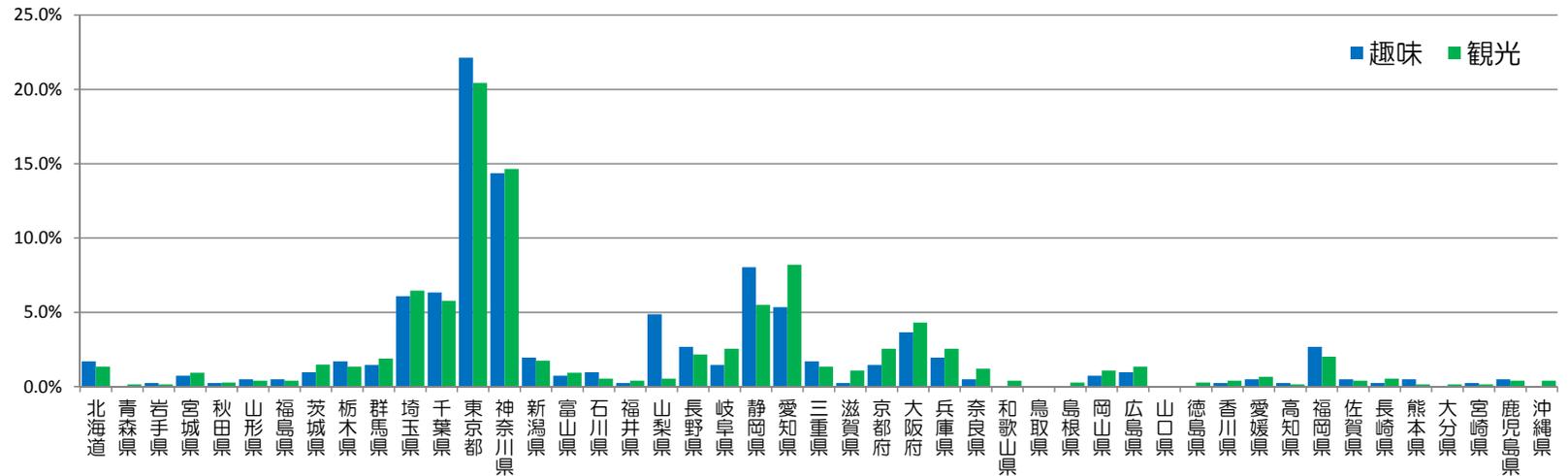


図3. 趣味・観光を主目的とする回答者の居住地

日常利用している回答者の居住地

● 甲府市の居住者が全体の約3割と最も多い。そのほかに南アルプス市や甲斐市なども目立つ。

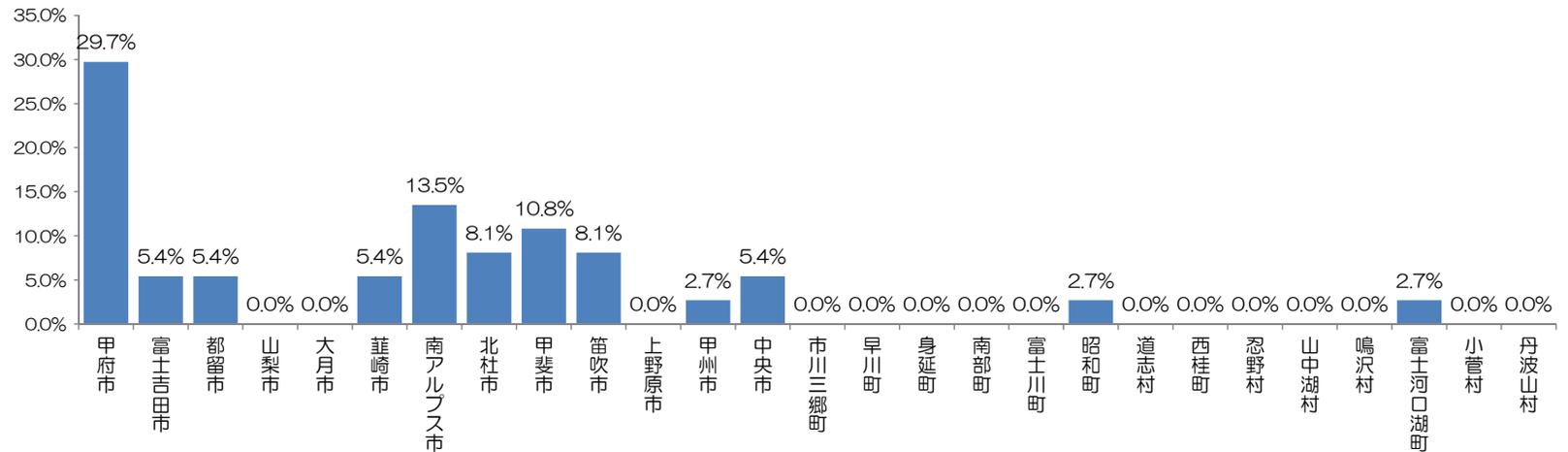


図4. 日常利用を主目的とする回答者の居住地（山梨県内）



調査結果③

山梨県で最も多く利用する地域の走行頻度

● 趣味、観光ともに数年に1回程度の走行頻度が最も多い。そのほかに趣味では年2～5回程度、観光では初めての回答も目立った。

● 日常の利用者（山梨県居住者）は、月1回程度が約半数を占め最も多い。なお、全体の約4割は週1回以上の利用者である。

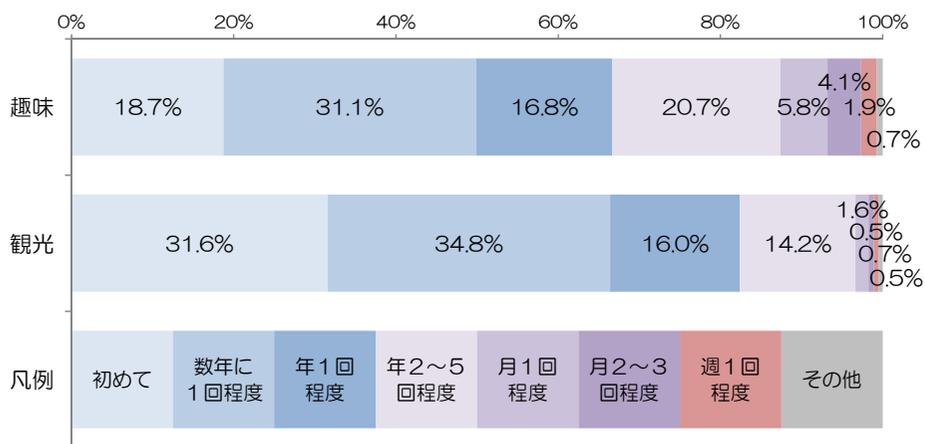


図5. 山梨県で最も多く利用する地域の走行頻度（趣味・観光）

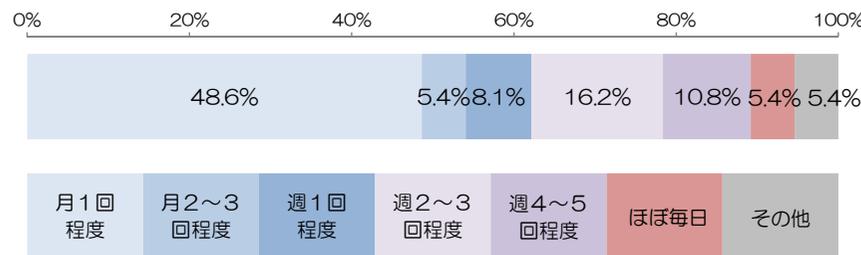


図6. 山梨県で最も多く利用する地域の走行頻度（日常）

山梨県で最も多く利用する地域の利用理由

- 趣味目的の理由では「サイクリングコースとして楽しい」や「運動」が多い。
- 観光目的の理由では「移動も楽しむことができる」が最多である。
- 日常目的の理由では「移動手段として便利」が最多である。

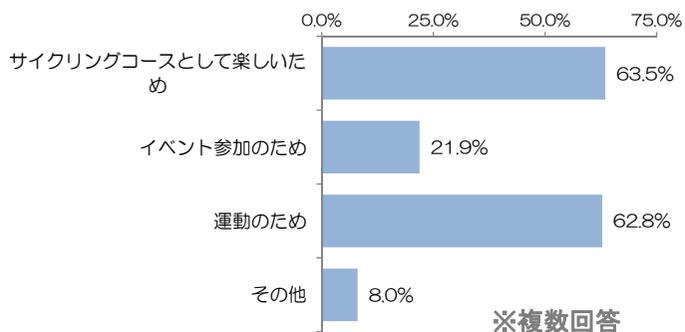


図7. 山梨県で最も多く利用する地域の走行理由（趣味）

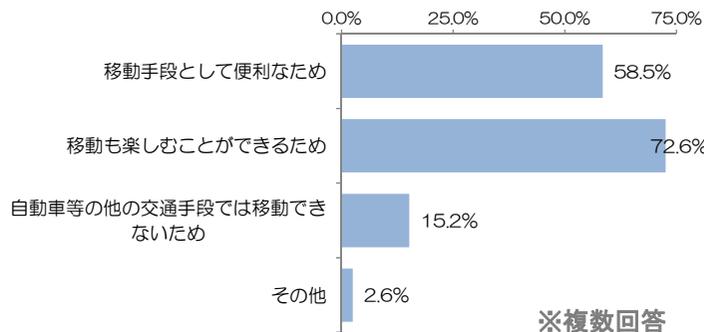


図8. 山梨県で最も多く利用する地域の走行理由（観光）

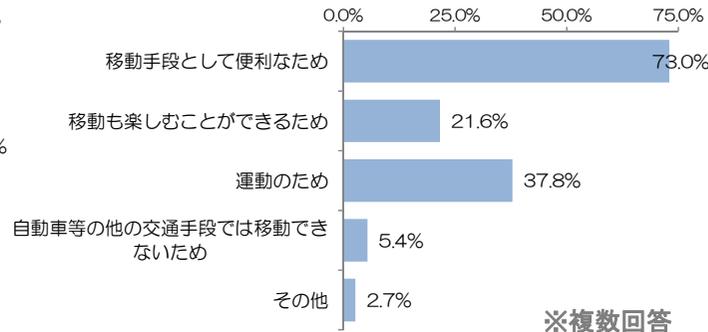


図9. 山梨県で最も多く利用する地域の走行理由（日常）



調査結果④

山梨県のなかで自転車で走行する市町村

● 趣味、観光ともに富士河口湖町が最も多く、次いで甲府市、山中湖村が続くほか、富士吉田市も目立つ。

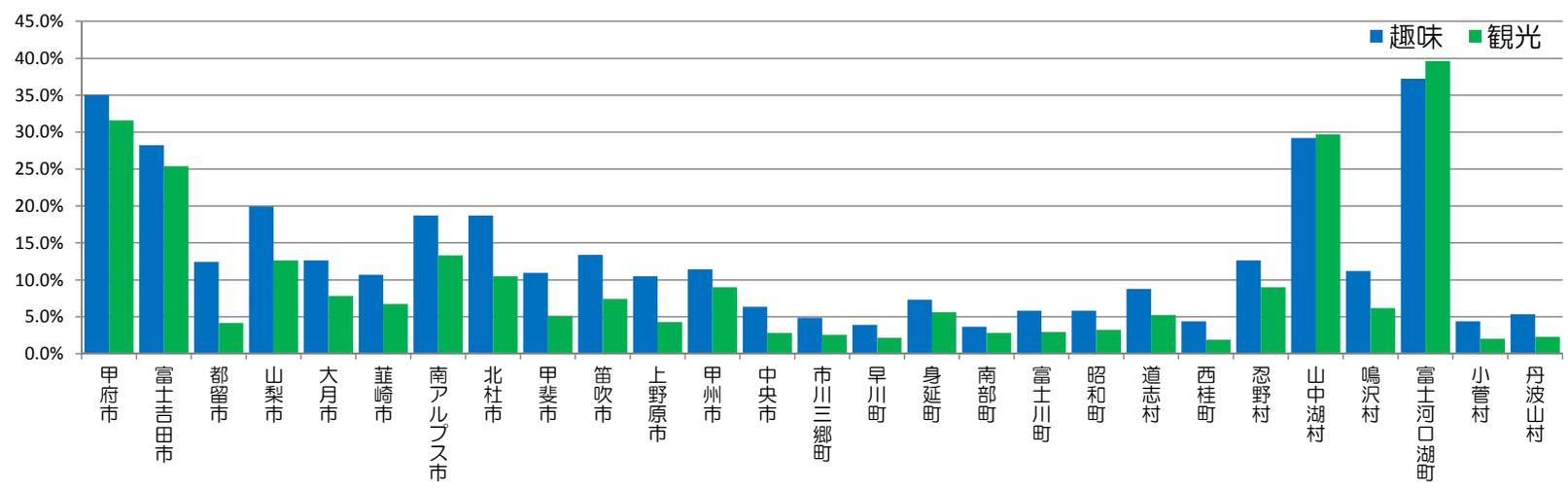


図10. 山梨県のなかで自転車で走行する市町村（趣味・観光）
※複数回答

日常で最も多く利用する利用目的

● 通勤・通学の利用が全体の約4割を占め最多である。そのほかに家事・買物や食事・社交・娯楽等も2割以上にのぼり、利用目的として回答が多かった。

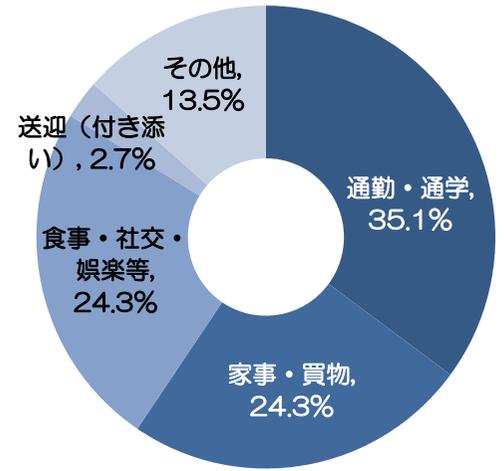


図11. 日常で最も多く利用する利用目的（日常）



自動車販売店を活用した自転車利用者の休憩施設としての展開可能性を把握するため、関連団体にヒアリング調査を実施した。

調査対象	山梨県自動車販売店協会
主な回答内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆トイレ利用や水分補給の利用は可能であるが、サイクルラック設置等の判断は店舗による。 ◆自転車活用推進に関するPRに協力することは可能である。
その他の回答内容	<ul style="list-style-type: none"> ◇山梨県自動車販売店協会加盟のショールームを持つ販売店では、やまなしクールシェアに協賛。90店舗が加盟している。 ◇やまなしクールシェアでは、来訪者に無料ドリンクを提供することとしている。同様の対応は可能である。 ◇自動車購入目的ではない方の休憩目的の利用は、心理的にハードルが高くなると思われる。



©1976, 2018 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. G591197

▲やまなしクールシェア



山梨県内の自転車利用者の来訪状況や関係団体等の自転車利用者への対応状況、施策の導入可能性等を把握することを目的に、関係団体等に対してアンケート・ヒアリング調査を実施する。

アンケート・ヒアリング調査項目

項目	アンケート調査内容	把握事項
自転車関連施策	取り組んでいる・取り組み予定の自転車を用いた観光施策	ルート設定、休憩施設整備、情報提供(サイクリングマップ作成)等
サイクリングイベント	地域内でのサイクリングイベント開催状況	名称、概要、時期、参加人数等
レンタサイクル	地域内でのレンタサイクル事業実施状況	名称、概要、貸出台数、利用者数等

アンケート・ヒアリング調査対象

分類	項目	対象	調査概要	調査方法
民間	観光	観光協会、観光連盟等 (民間旅行関連会社を含む)	・シェアサイクル等の利用状況 ・イベントの実施状況	アンケート
		鉄道事業者、バス事業者	・鉄道事業やバス事業との連携の可能性	ヒアリング
		シェアサイクル等事業者	・シェアサイクル等の実施状況	ヒアリング
	健康・スポーツ	自転車に関する活動を行っている民間団体等(オリンピック関連含む)	・サイクリングイベント等に関する取組内容	ヒアリング
		コンビニエンスストア業界団体	・コンビニエンスストアとの連携の可能性	ヒアリング
		自転車販売店、自転車関連施設	・販売店、施設の取組状況、今後の展開	ヒアリング
その他 (参考調査) 【行政】	観光	道の駅	・道の駅を拠点とした展開の可能性	アンケート
		まちづくり・環境	県内市町村	・自転車関連施策の実施状況・計画
	健康・スポーツ	境川自転車競技場、金川の森、穂坂自然公園ふれあいセンター スポーツ施設(小瀬スポーツ公園等)	・施設の利用状況・取組、今後の展開の可能性	ヒアリング